

学術集会 ご報告



会長

北脇 城

京都府立医科大学
産婦人科学教室
教授

第19回 日本生殖内分泌学会学術集会を終えて

平成27年1月10日に千里ライフサイエンスセンター（大阪府豊中市）で開催させていただきました第19回日本生殖内分泌学会学術集会におきましては、おかげさまで159名のご参加をいただき、盛会裡に無事終了することができました。

本学術集会では、小規模でありながら学際的かつ先端医学のエッセンスをコンパクトに吸収しやすいという利点が活かされればと考え、「生殖内分泌学～基礎から臨床への架け橋」をメインテーマとさせていただきます。招請講演には京都大学の斎藤通紀教授をお招きし、「生殖細胞の発生機構の解明とその試験管内再構成」と題した最新の成果をお話しいただきました。教育講演では生殖再生医学アカデミア理事長の森 崇英先生に多嚢胞性卵巣症候群に関する研究の集大成をお話しいただきました。シンポジウム「基礎から臨床への架け橋」では、本学会をはじめ関連学会でご活躍中の河村和弘先生（聖マリアンナ医科大学）、宮戸真美先生（国立成育医療研究センター研究所）、水谷哲也先生（福井大学）、丸山哲夫先生（慶應義塾大学）の4先生に最新の研究成果をお話しいただきました。さらに、40題の中身の濃い一般演題もご登録いただきました。正に最新の知見を凝縮した構成となり、期待どおりハイレベルなご発表をしていただきました。ご参加の皆様には少しでもご堪能いただけたのであれば嬉しく存じます。

実は、教室員を当日の運営に当たらせましたが、常日頃研究に全く興味を示さなかった者、興味を失いかけていた者、さらには他領域に興味があった者が、生殖内分泌領域をもっとしっかり研究しなければいけないと学会終了後に私に申し出てきました。ハイレベルな発表の連続に触発されたようでした。まずは若者に真剣な学問の現場を見せることが本学会の明日に繋がるのではないかと、今回思わぬ副産物として知った次第です。

開催にあたり、皆様の格別のご指導ご支援ご協力を賜り誠にありがとうございました。日本生殖内分泌学会の今後ますますの発展を祈念しております。

第19回日本生殖内分泌学会学術集会 会長
北脇 城
京都府立医科大学産婦人科学教室